

計画の理念と目標



第6期計画 基本理念

みんなで支えあい
ともに安心して
その人らしく暮らせる
川崎のまちづくり
～ともに目指す地域共生社会の実現～

第6期計画 目標

- I 認め合い支え合う心を広げよう
- II みんなが参加できる地域をつくろう
- III 寄り添い支え合える地域のネットワークをつくろう
- IV 未来の福祉を共創しよう

地域共生社会の実現に向けた川崎市社協10の取組



「ふくし」の心が育つ取組

地域に住む一人ひとりがそれぞれの立場に立ち、互いに尊重し支え合い、地域における課題を自分事として捉える「ふくし」の心が育まれる環境をつくります。



多様化する地域課題・生活課題への対応

要支援世帯の早期発見及び早期支援のためのアウトリーチの強化により、日頃からの地域における顔の見える関係づくりを通して、横断的な相談対応体制を構築します。



「伝わる」広報・啓発

社協に関する事業や、地域の様々な団体・活動の情報発信を通じ「ふくし」への理解を広めます。また情報から取り残される人がいないよう支援をするとともに、より多くの人へ情報が届くよう様々な手法で「伝わる」広報啓発に取り組みます。



活用の見える化 ～寄附文化の醸成～

地域福祉推進の参加方法である寄附文化の醸成に向け、活用の見える化を進め、理解促進と寄附や募金がしやすい環境づくりとともに、寄附や募金の呼びかけを行います。



場づくり・機会づくり

「やりがい」「いきがい」「健康づくり」のきっかけにつながる住民同士の交流、住民の主体的な活動への参加促進を通じ、自助・互助の取組振興、介護や社会的孤立などの地域生活課題の予防や解消、把握などにもつながる場づくりや機会づくりを行います。



住民主体の活動の振興

ボランティアなど地域福祉活動の担い手づくりや育成、住民主体の活動や団体の活動しやすい環境整備や交流の機会づくり、様々な情報提供や活動促進に向けた支援を行います。



福祉人材の発掘・育成・支援

福祉の仕事の魅力を発信し、専門的人材の発掘及び育成を行うとともに、専門性や技能の向上推進、福祉の担い手が誇りや働きがいを持ち続けられるよう、継続的に支援します。



多種多様な社会資源同士の 連携強化と協働

既存の制度や仕組みでは解決できない地域課題やニーズへの対応に向け、分野別組織や専門領域の枠を超えた様々な分野の社会資源の連携強化やネットワークづくりを推進します。



災害に強い地域づくり

様々な災害時の対応を見据え、住民、関係団体・機関や地域資源の把握と連携強化、住民同士のつながりづくりを平時より推進します。災害発生後に被災地域・住民の生活再建に必要な支援が円滑に届くよう、ICTや社協のネットワークの活用を含めた支援体制の構築を進めます。



持続可能な地域福祉の推進に 向けた調査研究の強化

地域福祉活動の活性化や効果的な実施に加えて、将来にわたり地域福祉活動を推進していくため、地域課題や地域ニーズの把握、解決に向けた調査研究を強化します。

地域福祉計画（川崎市の行政計画）との関係

川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンの趣旨を踏まえ、より効果的な地域福祉の推進に向け、川崎市で策定する「地域福祉計画」との機能と役割がお互いにより一層発揮できるよう、計画期間を合わせることや、理念の共有化等一体的な計画として策定し、両計画の連携を強化することとしています。

社会福祉法人
川崎市社会福祉協議会

第6期（令和6年度～令和8年度）

地域福祉 活動計画 多摩区概要版



地域福祉活動計画とは

社会福祉協議会（以下「社協」という。）が呼び掛けて、住民をはじめ地域で社会福祉に関する活動を行うもの、社会福祉を目的とする事業を運営するものが相互協力して策定する、地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。



重点項目1 総合相談の充実と適切な支援の実施

住民相互の助け合いや支え合いを進めるために、職員のCSW（地域福祉コーディネーター）としての技術向上に努めます。また、総合相談の充実のため、ICT（情報通信技術）の活用を図るとともに、寄せられた相談に対して適切な支援を行い、必要に応じて専門機関等につなげます。

【具体的な取組】

総合相談充実、地域福祉サービスの充実強化、災害支援ボランティア活動の推進

ふくし寄合処たまの拡大実施

地域の居場所として、関係機関と連携を図りながら生活相談を強化し、多様化する福祉的ニーズの把握と課題解決に努めます。また多世代の住民が気軽に立ち寄れるよう、現在の4館から全館（7館）で実施します。



話し合いや関係機関からの情報提供もあります



重点項目2 多世代交流の促進と地域福祉活動の啓発・推進

多世代交流事業を拡大実施し世代間の交流を促進します。また、地区社会福祉協議会（地区社協）等の地域福祉団体への支援を行うことで区内の小地域活動を推進するとともに、社会福祉大会等を開催して地域住民に福祉の啓発を行います。

【具体的な取組】

子育て支援の展開、小地域活動の推進、他団体の各種行事の協力・助成、社会福祉大会の開催による啓発活動

多世代交流事業おしゃべりサロン「いちにのさん！」の実施



多世代でいっしょにおしゃべりをしながら交流している様子

令和4年度に子育て中の親子に加え高齢者も参加する多世代交流事業のおしゃべりサロン「いちにのさん！」を長尾老人いこいの家を会場として開始しました。今期は、参加者の増加を図るため、大学のボランティアサークルや地域の保育園等に協力を要請するとともに、他の老人いこいの家でもサロンを実施します。



重点項目3 地域ネットワークの強化と地域福祉活動推進のための財源確保

新たに地区社協と地域の福祉施設の連携関係を構築するとともに、関係団体等の支援を行うことで多摩区社協の地域ネットワークを強化します。また、地域福祉活動の一層の推進のための財源の確保を図るとともに、常任委員会等による効果的な多摩区社協の運営と組織基盤の強化に努めます。

【具体的な取組】

関係機関との連携強化、会員間の連携強化、地域福祉活動推進のための財源の確保と活用、安定的に持続した組織基盤づくり

地区社協と地域の福祉施設等との連携の強化

「SOSかわさき事業 地域ネットワーク会議」を活用して、地区社協と地域の福祉関係施設等との連携体制の構築を図ります。



地区社協と施設のグループワーク



重点項目4 福祉教育等の推進による新たな地域福祉の担い手の育成

地域福祉の担い手育成を図るため福祉教育やボランティア活動への大学生等の参加を促進するために事業を企画します。また、広報等の充実を図るためSNS（社会的な交流の場を提供するインターネットワーク上のサービス）等を活用し、区社協事業のPRに努めます。

【具体的な取組】

福祉教育の推進と、ボランティア活動の啓発による担い手の育成、広報・情報提供の充実

福祉教育親子参加講座の実施

参加した親子が体験プログラムや講話を通じて「福祉」や「障がい」について家庭でも話しあい、考えるきっかけとなるよう講座を実施しています。

大学生へのボランティア活動の啓発

多摩区社協第4期計画期間中には、老人いこいの家を会場として、高齢者に専修大学の学生ボランティアがマンツーマンでスマホの操作を教える交流会を開催しました。今期は、区内の他の大学や高校にも働きかけ、高齢者のニーズに応じた事業の拡大を図る中で、担い手の育成と多世代交流の推進に努めます。



親子で一緒に福祉体験



大学生にスマホの使い方を聞きました

